

地上デジタル放送を活用した河川情報の配信

- 平成24年4月から全国を対象に、NHK総合の「地デジデータ放送」にて放送を開始。
- 地デジ用の「河川等防災情報提供システム」を整備局で構築。大量(雨量、水位観測所)のデータを正確かつほぼリアルタイムで報道機関に提供し、地上デジタル放送を通じて住民等へ提供。
- 平成24年4月2日から中国地方でもシステム運用(NHKへのデータ提供)を開始。(なお、岡山県については現在NHK側の機器の関係で県のみデータ提供)

放送画面の例

雨量観測所は、地図上の円で位置を表示。濃淡で雨の強さを表示。

水位観測所は、地図上の四角で位置を表示。選択した観測所は四角が点滅し、下部の詳細情報と現在の水位危険度レベルを表示。



放送画面(NHK提供)

各県の放送局毎に4~6枚程度の画面を作成。リモコンの上下で切り替える。